

ワンショットアンダーパピーの漫画のロコミに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	ワンショットアンダーパピーの漫画のロコミに関するアンケート調査
調査対象	ワンショットアンダーパピーを読んだことのある20代～40代の男女20名
調査期間	2025年1月28日～2025年1月30日 2025年7月23日～2025年7月24日 2025年9月9日～2025年9月10日 2026年1月11日～2026年1月12日 2026年4月26日～2026年4月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/one-shotandapapi/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: ワンショットアンダーパピーを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: ワンショットアンダーパピーを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名
30代女性	3名
40代女性	6名
30代男性	9名
40代男性	1名

Q2: ワンショットアンダーパピーを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

~~作品の5段階評価について~~

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通): 面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった): あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった): 読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	8人
★★★★	10人
★★★	2人
★★	0人
★	0人

Q3: ワンショットアンダーパピーを実際に読んだ感想を教えてください。

ゆなは女の子らしい見た目でもとても可愛いのに、実際は腹黒で、頻繁に食い散らかしている所に驚きました。新たなカメラマンと待ち合わせしてウキウキのゆなだったけど、想像とは違うイケメンが現れて、啞然としてしまうゆなが面白かったです。

ゆなちゃんの性格とか洋服とかが、結構リアルだと思います。もちろん全員ではないのですが、今どきの地雷系の子って繁華街に出入りしていたり、インフルエンサーとして活躍している子が多いです。そう考えてみると主人公のゆなちゃんは結構実在していそうなリアルなキャラクターだと思います。すぐ調子に乗ってしまうところでもとてもかわいかったです。

冒頭からコスプレが趣味で、キモオタを「卒業させてあげた」と豪語する黒髪ツイテール、というオタク好みの理想を詰め込んだような小生意気かわいいヒロインが描かれ、どんなシーンが見られるんだ！？とページをめくる期待感が高まっていった。途中からは「分からせ」というジャンルに分類される展開になるが、最初は圧倒的な優位な立場だと認識していた生意気なヒロインが精神的に徐々に屈服していく様がとてもドキドキして良い漫画でした。

生意気で高飛車な女の子であるゆなが、イケメン男子と出会ったことで一気に立場を逆転されてしまうところにワクワクしました。前半の生意気な描写があるからこそ、後半の展開の盛り上がりが引き立って最高でした。

この作品のヒロインゆながとても魅力的ですね。自分のフォロワーに自ら連絡して撮影会を開いている姿に面白さがありました。ある日の撮影会で、ひさしぶりにイケメンが撮影会に来てくれてテンションが上がっている姿が微笑ましいです。

作中ゆなの撮影会にムックというマスク姿のイケメンがやってくるのですが、このキャラの反応が特に面白いですね。ゆながムックに色仕掛けを繰り返していくのですが、とてもクールな対応をしているのでその場面がシュールで笑えます。

オタクどころか男性全般、なんなら自分以外の女の子も軒並み見下してそんなヒロインを容赦なく攻めて鳴かせる展開が気持ち良すぎます。お前らこーゆーの好きなんだろ？って心の声が透けて見えるような狙いすぎのゆなちゃんのビジュや、ムックこと椋くんがイケメンだと知ったとたん手の

平クルーになるところ等も、いい感じにイラッとさせてくれてドキドキさせられました。

ヒロイン・ゆなちゃんの見たと導入部分からキモヲタに「わからせ」られちゃうお話かと思いきや、ムックの素顔にまずビックリさせられ、なるほどコイツが実はヤベーやつなのねと思ったら、全然危険な目には遭わず、最終的にウィンウィンな感じでまとまるという、予想をどんどん覆してくるストーリー展開が楽しめました。

男心を手玉にする悪人なのです。なのですが、ヒロインがとにかく魅力的です。こんな子なら騙されてもいいって思えてしまいます。くるくると変わっていく表情。しかもこんなにも可愛いのであれば無敵ですよ。ですがそんな彼女の魅力にみじんも動かされないイケメンが現れた。これからどうなっていくのかも気になっちゃいました。

「ワンショットアンダーパピー」を読んで、主人公ゆなの大胆で奔放なキャラクターと、それに対抗するムックの冷静さの対比がとても印象的でした。特に、ムックが最初は無反応に見えても、その裏に隠された計算や意図が徐々に明らかになるところが面白いです。ゆなの挑発的な態度が次第に崩れていく様子は物語としての引き込み力が抜群で、心理描写も丁寧に描かれているので、思わず感情移入してしまいました。独特の緊張感と、後半に向かうにつれて高まるストーリーのテンポ感が素晴らしく、一気に読んでしまいました。

はじめて読ませていただきました。第一印象としては、非常に絵が綺麗でした。綺麗というか、可愛い感じですかね。特に、女性が魅力的に描かれています。可愛いながらも、しっかりと女性らしく描かれており、見ていてとても満足感があります。ストーリーも、主人公がはっちゃけた性格になっており、見ていて面白かったです。

個人的にはかなり面白く刺さる感じがありました。ヒロインの女の子は可愛いし、イケメンが出てきてからの反応は分かりやすくメスを感じました。どんどんヒロインが堕ちていく姿はたまりません。絵も綺麗ですし、構図も色々工夫されており飽きることなく読み切ることが出来ました。続編があれば読んでみたいと思える作品でした。

最悪野郎のゆなちゃんですが、本当にかわいいのです。このかわいらしさは罪でしょう。何をやっても許してしまえる。顔がかわいくて表情も豊かで、あのツインテールもいい。すっかり骨抜きにされました。でも世の中にはそれが効かない相手もいるってことで、自分から求めるのって初めての経験なのでは。すっきりも楽しめます。

若くてかわいいJKって日本ではステータスとなっておりますが、特にゆなちゃんはやりたい放題ですよ。そんなガキンチョはのさばらせてはならない。こらしめてやらなければ。ということでイケメンはかわいい子にすり寄られなれているからこそ、こんなかわいい子の攻撃も聞かないってことが分かりました。美男美女のカップリングが目の保養。

表情ゆたかな子ってこんなにもかわいらしいのだとは。破壊力抜群です。もちろんプロポーションもよくて、シーンはかなりの満足度ですね。こんなかわいい子もやっぱりイケメンが好きか。そりゃそうですけど、こびるゆな様は見たくなかったような。生意気娘がすっかり従順に。スカッとを楽しめる展開です。わからされた彼女もやっぱりかわいい。

メツシ先生の作品、どちらかというとボリュームミーな体型の女性が多いのですが、今作はスリムというかちょっと華奢な感じの女の子。でも、この絵と設定がすごくマッチしていると思います。まさか、こんなにも地雷系と相性が良いとは。また、個人的にゆなちゃんの猫っぽいところが好きです。コスプレもアニメとかではなく猫のコスプレをしているところがいかにもって感じで解像度が高いなと思いました。

地雷系女子をテーマにしたオトナ系漫画が増えてきて、結構好きなジャンルなのでうれしい限りです。その中でも、ゆなちゃんのお話は結構コミカルな部分もあって読みやすいところがお気に入り。ちょっとダウンナーな雰囲気漫画もありますけど、こちらは結構面白いです。いつもとは違う相手にムキになってしまい、いろいろしちゃうところ、単純で可愛いですね。

自分が手綱を握っていると思っていたら、気づけば相手に手綱を握られていたという流れはよくあるかな、と思います。犬みたいに従順になって、しっぽまでつけられちゃうのですが、途中から敬語を使うようになり、ワンとまで言うようになってしまいます。このワンといったときのシーンはかわいかったです。正直ちよろいってしまいました。男性側がかなりやり手だったからかもしれません。女の子はいやいやじゃないのが良かったです。変顔をするような内容は好きではないので、それが良かったです。ただ、そういったものを求めている人からしたらソフト過ぎて違うかもしれません。

調子のりまくりな生意気ヒロインが、プライドをへし折られてわからせられる様子を楽しめるのが最高でした。棕くんがとにかくイケメンで、ヒロインの女心を見事にコントロールしまくっているのが凄いなと思いました。ヒロインは今までオタク達を見下していたから、自分が下の立場になってしまったことのイライラなどがリアルに描かれているのも良かったです。

女の子の性格とかは特にタイプではなかったんですけど、メツシ先生の画力が高すぎて、それだけで楽しめました。ノリも面白いし、思わずニヤニヤしちゃいました。あと、最後まで読んでいると、どんどんゆなのことが好きになってしまいました。本当に犬みたいで、尻尾も良く似合ってます。チョロくて思わず「

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス